



まいづる市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 186

令和5年(2023) 8月6日

- 令和5年第2回臨時会を開催
- 令和5年度一般会計補正予算を可決
- 意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」を開催
延べ95人の市民が参加
- 「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する
条例制定について」を可決

主 な 内 容	市民と議会のわがまちトーク	2
	第2回臨時会のあらまし	4
	予算決算委員会の審査報告(第2回臨時会分)	4
	第7次舞鶴市総合計画	4
	各会派討論(第7次舞鶴市総合計画分)	5
	6月定例会のあらまし	6
	常任委員会の審査報告 (第7次舞鶴市総合計画除く6月定例会分)	6
	各会派討論の内容 (第7次舞鶴市総合計画除く6月定例会分)	8
	議案の採決結果	10
	一般質問	12
9月定例会の予定	20	

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。

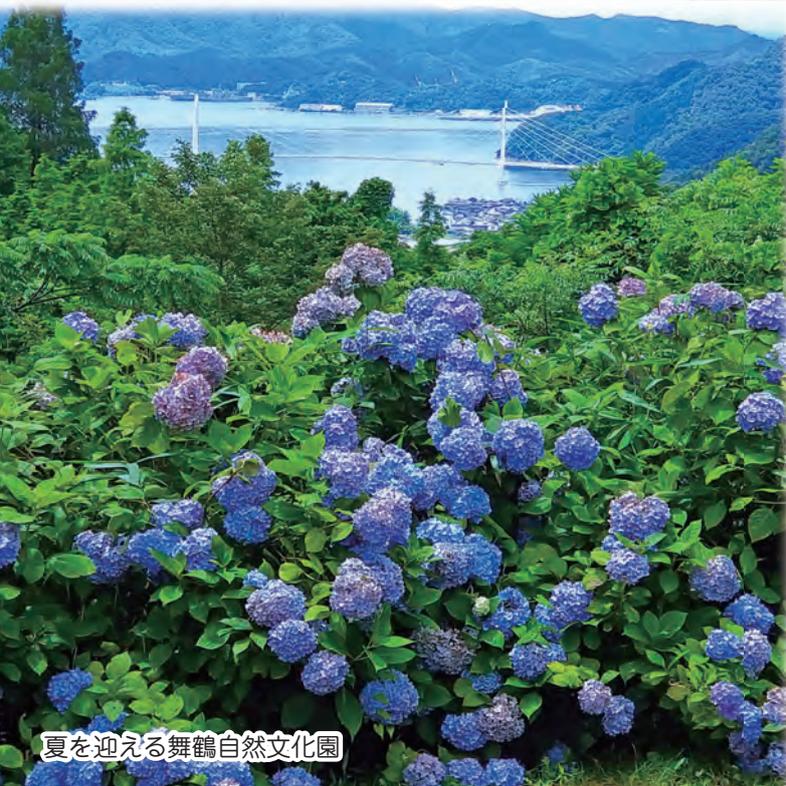


Re:Start

舞鶴の夏



にぎわいを取り戻す神崎海水浴場



夏を迎える舞鶴自然文化園



夏の空山展望台



“夏”季節の彩り鮮やかに

「市民と議会のわがまちトーク」を開催しました

「市民と議会のわがまちトーク」は、各常任委員会が設定したテーマに沿って、市民の皆さまと議員がワークショップ形式で意見交換を行うもので、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮して開催しました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、各委員会における調査や議論を踏まえて、市への政策提言につなげてまいります。

4月22日(土) 午前	地域で活動するスポーツ団体と学校部活動との連携について	市民文教委員会
4月22日(土) 午後	人口減少を止めるには～移住・定住の促進について～	総務消防委員会
4月23日(日) 午前	若者の地元就職を図る取組について	産業建設委員会
4月23日(日) 午後	生活習慣改善の推進について～市民の健康寿命延伸対策を考える～	福祉健康委員会

市民文教委員会

テーマ 地域で活動するスポーツ団体と学校部活動との連携について

参加者 26人 (学校関係者、地域スポーツ関係者、保護者、スポーツ団体に所属している中学生、公募の方々)

主な意見

- ◆ 生徒が参加しやすい環境を確保するためには、練習場所までの移動手段を公共交通が利用できる範囲にするなど、送迎に係る保護者負担の軽減を図ることが必要。
- ◆ 事前に指導者や保護者への説明が必要であり、理想的な方向性のイメージを共有することも必要。
- ◆ 指導者が不足していることから優れた人材を確保するための仕組みづくりが必要。



総務消防委員会

テーマ 人口減少を止めるには～移住・定住の促進について～

参加者 21人 (移住者、移住・定住事業関係者、自治会長等、舞鶴高専・ポリテクの学生、公募の方々)

主な意見

- ◆ 親世代が、子どもに対して「舞鶴には何も無い」というのではなく、舞鶴の良いところを探す積極的で前向きな姿勢が必要。
- ◆ 地元企業が人材育成のために、地元の若者に対して多様な啓発等の取組を行うことが必要。
- ◆ 若い世代の移住・定住のためには、子どもを産み育てる不安を解消する支援を充実させることが必要。



産業建設委員会

テーマ 若者の地元就職を図る取組について

参加者 24人（市内の学生、市内事業所の従業者、学生の保護者、公募の方々）

主な意見

- ◆ 若者が集まれる場所が少ないので、東西のJR駅近くに、勉強や交流ができるスペースを設けたらどうか。
- ◆ 舞鶴市内の企業をもっと知ってもらうために、実際に働いている人と情報交換ができる機会を増やすべきではないか。
- ◆ 市内の学校を卒業し市内企業に就職する場合や、U・I・Jターン就職する場合の支援を充実するべきではないか。



福祉健康委員会

テーマ 生活習慣改善の推進について
～市民の健康寿命延伸対策を考える～

参加者 24人（保健師、運動指導員、公募の方々）

主な意見

- ◆ 毎年健診を受け、受けっぱなしにしないでその後に生かすことが重要。
- ◆ 若い時から、適度な運動や歯のケアなどを続けておくことが重要。
- ◆ 市から、もっと積極的に健康について、情報発信していく必要があるのではないか。



※「市民と議会のわがまちトーク」の内容は、委員会別に報告書を作成し、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



参加者へのアンケートの結果

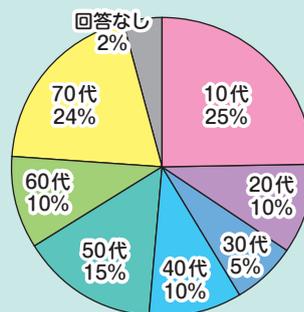
市民と議会のわがまちトークにご参加いただいた皆さまにアンケートをお願いし、回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

ご参加いただいた方の年代は、10代から70代まで幅広く、様々な年齢層の方々からご意見をいただくことができました。

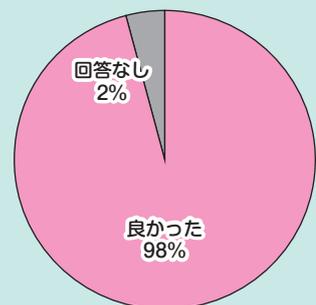
今回の「市民と議会のわがまちトーク」については、98%の方から「良かった」と評価していただきました。

一方で、議員のファシリテーターとしての力量に対する厳しいご意見もいただいております。今後も、より良い意見交換ができるように努めてまいります。

参加者の年代



意見交換の評価



第2回臨時会のあらまし (令和5年5月8日(月)開催)

●食費等の物価高騰に直面し、家計への影響が特に懸念される低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の緊急的な支援を行う子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費9080万円の令和5年度一般会計補正予算(第1号)を可決したほか、市税条例の一部を改正する条例制定など、専決処分2議案を承認



Q 周知方法は
A 市ホームページや市民課や西支所などへチラシを配架するとともに、児童扶養手当の現況届の際に周知することに加え、母子福祉会等へチラシを配布して周知に努める。

Q 支給対象者数および世帯数は
A 令和5年4月1日現在、0歳から18歳までの子どもの人数1万2453人のうち、14・4%に当たる1792人、1067世帯を支給対象と見込んでいる。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

令和5年度一般会計補正予算(第1号)

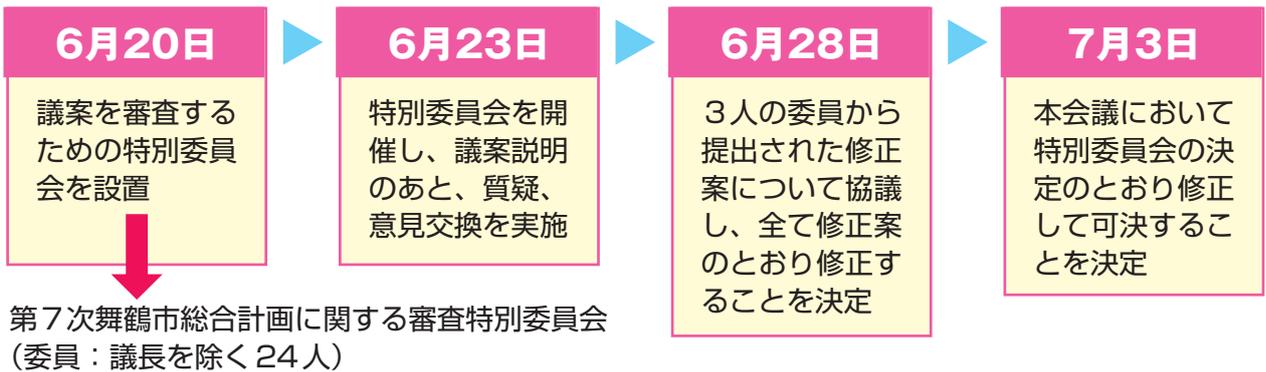
予算決算委員会の主な審査内容

第7次舞鶴市総合計画に関する議案の審査経過

令和5年4月からの後期実行計画の策定に向け、令和4年12月に、その案が取りまとめられましたので、議会では、それを調査するために「第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会」を設置し、議論の結果、13件の意見を議会の総意として市へ提出しました。

その後、令和5年2月に新たな市長が就任されたことに伴い、総合計画全体の見直しが行われ、5月に見直し後の案が示されましたので、再度、特別委員会において議論した結果、13件の意見を議会総意として市へ提出しました。

それを受けて、市で検討され、6月定例会に議案が提案されましたので、これを審査するために「第7次舞鶴市総合計画に関する審査特別委員会」を設置して議論した結果、3人の委員から修正案が提出され、その修正案のとおり修正することを決定し、本会議における採決でも修正案のとおり修正して可決することに賛成の議員が多数を占めました。



【修正案の内容】

- 1 「学習意欲等を伸長する機会の確保」に関する項目を削除
→ 公平性の観点で課題があることから全文を削除
- 2 「地域医療」に関する文言を修正
→ 誤解を与えず地域医療の目指す方向性等を示す表現に修正
- 3 「パートナーシップ制度」に関する文言を追加
→ 啓発に留まらず制度の検討を前に進める表現に修正



修正案は、市議会のホームページからご覧いただけます。

討論

2つの修正案に賛同できないため反対

公明党議員団

修正案に反対する。3つの修正案が提出された。まず、「学習意欲等を伸長する機会の確保」は、経済的な課題から、学力向上への機会を失うことのない支援を幅広く検討していくことが必要である。次に、「多様性を認め合い、自分らしく暮らせる取組の推進」は、多様性に対する理解と認識を進めることが重要であり、慎重な議論が必要であると考へ、原案に賛成する。最後に、「病院間並びに病院・診療所間の連携の強化」は、原案を分かりやすくした修正案に賛同するが、2つ

の修正案に賛同できないことから、原案に賛成し、修正案に反対する。

討論

平和のもとで子育て
多用途、医療の充実

日本共産党議員団

修正案に賛成する。平和産業港湾都市の市是に基づき、住民福祉の向上にどのように結びつくのかを基本的に審議した。子育て支援では、「学習塾や習い事への支援の仕組みなど幅広く検討する」と説明があったが、学校教育の充実と支援の公平性の観点から全文削除が妥当である。多様性を認め合い、自分らしく暮らせる取組の推進では、パートナーシップ制度の検討を質

疑で言明され、これを記述した修正案に賛成する。市内公的4病院と診療所の連携では、市民が必要とする医療を提供できる体制構築が必要であり、分かりやすい記述の修正に賛成する。

討論

舞鶴の地域医療体制に
市民病院は必須

新政クラブ議員団

修正案に賛成する。第2章のうち、連携強化による医療機能の充実①市全体で総合的に地域医療が機能する体制の維持・強化について、「公的3病院」の表現は誤解を生むと考へる。病院連携を重要視した地域医療には、慢性期療養型の市民病院の存在は欠かせ

ないものがあるが、あえてその数字での表現を避けた修正案とした。本市の目指す医療体制は、将来構想として医療・介護も含めた連携機能が重要であり、その先の、市民の安全・安心な医療体制に向けた方向性を地域医療として示すべきである。他2件を含めた3項目の修正案に賛成する。

討論

学習塾等の費用に
ついては公平性が問題

自民党鶴政クラブ議員団

修正案に賛成する。学習塾へ通う子どもへの補助については、経済的、地理的な問題のほか、補助を行う基準などが明確に示されていない現状では、公

平性の観点から問題がある。また、委員会質疑において、スポーツや音楽など、学習塾以外の費用についても補助対象とする方向性も示されるなど、対象が広範囲で、あまりにも漠然とした内容である。最終的にどのような事業をどこまで行うのか、公平性はどのように保たれるのか、現状では、その骨格も示されないことから、削除することが適当であると考へ、第48号議案の修正案に賛成する。

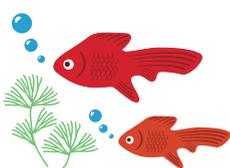
討論

性について市の多様な
方向性を示すべき

市民クラブ舞鶴議員団

修正案に反対する。性のあり方という文
言は、LGBTQの中

のセクシュアリティ、いわゆる性のあり方における4つの要素を指すと考へる。4つの要素とは、一つ目が法律上の性、つまり身体の性、二つ目が性自認、心の性、三つ目が性的指向、いわゆる好きになる性、四つ目がジェンダー表現、表現する性となる。パートナーシップ制度は、その三つ目の性的指向の部分であり、限定的な制度の実現ではなく、本市の4年間の取り組みとして幅広く性のあり方、多様性を認めていく方向性を示すべきとの考へから、修正案に反対し、原案に賛成する。



6月定例会のあらまし

- 物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円の支援を行う臨時特別給付金給付事業費や食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者の支援に加え、地域内の消費喚起により事業者を支援するまいづる小売サービスプレミアム商品券2023発行事業費、総額4億4062万円の令和5年度一般会計補正予算(第2号)を可決
- 市民との対話集会開催事業費や若者に本市で結婚し、定住してもらうために住宅改修費用などを支援する新婚世帯支援事業費、中学生の通院に係る自己負担額を1医療機関につき1カ月当たり200円に軽減する子育て支援医療助成費、新型コロナウイルスワクチン接種が令和5年度末まで延長されたことに伴い、重症化予防を目的として、希望する方に対してワクチン接種を実施する新型コロナウイルスワクチン接種事業費など、総額11億8775万円の令和5年度一般会計補正予算(第3号)を可決
- 3月定例会において閉会中の継続審査となっていた条例2議案について、6月定例会において再審議した結果、第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」は可決、第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」を否決

令和5年舞鶴市議会6月定例会は、6月2日から7月3日までの32日間開催されました。6月定例会に市長から提案された議案は、令和5年度一般会計補正予算2件、条例6件、その他10件に、3月定例会で継続審査となった条例2件を合わせて20議案を審議した結果、17件を原案どおり可決・同意、1件を修正可決、残りの2件については、否決・不同意と決しました。

予算決算委員会の主な審査内容

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

臨時特別給付金給付事業費

Q 家計急変世帯の判定や判定に用いる期間は
A 令和5年1月から12月までの家計急変を対象に受け付ける。給与明細や収支の帳簿などを確認し、1カ月の収入の落ち込み具合を見て、対象かどうかを判定する。

まいづる小売サービスプレミアム商品券2023発行事業費

Q プレミア率30%の商品券。今後飲食店を対象とした事業を実施する予定はあるのか



A 今後の経済情勢等を踏まえて事業の実施については検討していきたい。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

市民との対話集会開催事業費

Q 対話集会の規模や相手方の選定方法は、どのような想定か

A 「次世代の思いを紡ぐ対話集会」は、高校生世代と、30歳代までの社会人を対象に1回ずつ開催する予定。「テーマごと」に開催する対話集会」は、現時点で5回を予定。それぞれ1回当たり15人程度の規模で、公募のほか、テーマに係る団体への参加依頼により参加者を決定したいと考えている。

新婚世帯支援事業費

Q 対象世帯を39歳以下とした根拠は

A 国の制度にのっとったものである。国のアンケート調査の結果からも20代・30代の若者が結婚する際に、

主に困っているものとして、結婚資金を挙げている。

Q 想定件数は何件か
A 夫婦ともに29歳以下が10件、夫婦ともに39歳以下が5件、夫婦いずれか一方が39歳以下が10件の計25件を想定している。

Q 京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金との関連は
A 新婚世帯支援事業費を活用後、多子世帯支援と三世代同居・近居支援を活用することは、可能である。

地方創生拠点整備事業費

Q 「ゼロベースでの見直し」の対象となっていた事業であるが、見直しの結果は

A 当初予算では、市長就任から間もない提案であり、令和4年度に債務負担行為を設定した事業だけを計上していたが、事業の目的や経過、今後の整備内容や長期的な全体像などをしっかり把握し、整備を進めていくこととして、今年度の実施

本会議において付託された議案は、市民文教委員会5件、産業建設委員会3件、総務消防委員会5件、予算決算委員会2件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

を予定している事業について、6月定例会に補正予算を提案したものである。

**舞鶴市・高浜町連携
青葉山エリアブラン
ディング事業費**

Q 吉坂以外の堡壘砲台の今後の整備予定は

A 市内には他に葦谷砲台や横山砲台跡といった日本遺産の構成文化財が存在する。今回、吉坂の堡壘砲台を調査等する中で、舞鶴の日本遺産と連携できるものがあれば検討していきたい。

Q 赤れんがパーク・ハーバルビレッジ連携イベントの具体的な内容は

A 両施設におけるイベントの同日開催や、赤れんがバザール、ハーバルマルシェの出店者による相互乗り入れ等を予定している。

**保育所等に係る
衛生環境充実の取組**

Q 使用済みおむつを自園で廃棄処分するにあたり、認可外保育施設への市の対応は

A 0歳から2歳児を受け入れる全ての施設に対して、事業用指定ごみ袋の支給、保管用ごみ箱の購入費用を支援する。

Q 保管用ごみ箱の想定個数は

A 各園の状況に合わせ必要個数を支援する。

新生児聴覚検査事業費

Q 対象児の保護者への周知は

A 今後準備が整い次第、母子健康手帳交付時に受診券・説明文を窓口で手渡しする。既に母子健康手帳を交付している9月以降出産予定の方には受診券等を郵送し、周知する。

Q 対象児が9月1日以降出生の新生児なのはなぜか。もっと早くならないのか



A 補正予算成立後、

京都府、京都府医師会及び近隣の産科医療機関と連絡調整を行っていくが、契約事務や制度の周知、検査実施体制の整備などに2カ月ほどかかるため、9月1日からの実施を予定している。

Q 再検査が必要となった場合、再検査の費用は対象となるか

A 今回の事業の対象は初回検査のみ。再検査・精密検査分などは通常の保険診療となるが、市の子育て支援医療助成制度により自己負担1カ月200円となる予定。

**事業者電力価格高騰
緊急対策事業給付金**

Q 給付額が一律20万円理由は

A 高圧電力の小口契約における一般的なモデルケースの電気料金が基本料金を除き約21万円であり、高圧電力契約事業者に対して幅広く対応していくため、小口契約を基準として設置した。

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会

**工事請負契約の変更
について**
(清掃事務所整備工事)

物価の上昇や賃金等の急激な変動に対処するため、変更工事請負契約を締結するもの。

Q 変更契約の内容は

A 人件費と設備費で、公共工事設計労務単価等が約9・5%、企業物価指数による金属製品が約18%、電気機器で約6・4%上昇していることから1100万円増額となった。

**工事請負契約について
(倉梯小学校教室棟
長寿命化改修工事)**

倉梯小学校は、舞鶴市学校施設長寿命化計画に基づき、築年数が最大65年を経過する教室棟の長寿命化のため、改修を行うもの。

Q 仮教室対応ではなく、空き教室を利用するのは、費用を安く抑えるためか

A 仮設校舎の建設には数億円かかるが、空き教室を利用することにより、費用を大幅に削減することができる。

産業建設委員会

**新たに生じた土地の
確認について**

港湾管理者である京都府が和地区の船だまり施設の整備のため実施していた公有水面の埋立が竣功したことに伴い、新たに生じた土地の確認を行うもの。

総務消防委員会

**舞鶴市教育長の
給料の特例に関する
条例制定について**

教育長の給料月額を、条例で定める額に100分の10を乗じて得た額とするもの。

※令和5年3月定例会からの継続審査案件

Q 市長の政治信条に基づいて、共に行財政改革に取り組み同志と

して、教育長にも給料

の1割減を求めているもので、教育に対する政治的な介入に当たるとは思わないかと考えるが、教育長は、どのような認識か

A 市長の政治信条に全て従うということではなく、行財政改革を進めていくということについては、市長と同じ思いであることから、給料の減額についても同意したものであり、教育の政治的中立性を侵害するものではないと思っている。

Q 教育長自らの意思で、給料の1割減額を提案したのか

A 今回の減額は、市長の提案に応じたものである。



令和5年6月2日の本会議初日および7月3日の最終本会議において、提案された第48号議案を除く議案に対して討論をしました。

討論
税金の使い方は
市民生活優先にすべき

日本共産党議員団

13議案に賛成し、2議案に反対する。

第36号議案は、物価高騰対策として一世帯3万円を支給する「臨時特別給付金事業」と、景気対策のための「まいづる小売サービスプレミアム商品券2023発行事業」であり、賛成する。

第37号議案では、3月定例会でゼロベースで見直すとして一旦ストップした、赤れんがパーク周辺一帯を整備する「地方創生拠点整備事業費」に5億1191万円が計上された。従前から市民生活を優先すべきとして、観光中心の大型事業には反対である。長引く物価高や原油高の中、

税金の使い方を市民生活優先に切り替えるべきである。「子育て支援医療助成」は、府下で最も遅れている事業で、事業開始が最速で令和6年1月とされたが、9月から本格実施できたはず。さらなる拡充を求め、反対する。

第38号議案は、「復興特別住民税」が看板を架け替えて「森林環境税」として市民一人当たり千円徴収するもの。市民負担が続くこととなることから条例改正に反対する。

特別職の給与カットに賛成
継続審査となつてきた第12号議案と第32号議案の条例制定は、市長、教育長の任期中に限る特例であり、反対する理由がない。5月22日の「特別職報酬等審議会」で「審議会への諮問は不要」とされた。市民の理解も得られるものであることから、賛成する。

討論
有効的な
財源の活用を期待

市民クラブ舞鶴議員団

全議案に賛成する。

第37号議案では、子育て支援医療費について、15歳までの中学生の通院の自己負担額が、1カ月1医療機関につき1500円の償還払いから、2000円の現物支給となる助成であり、子育て世代の負担軽減に資する。今後に期待し、賛成する。

第12号議案では、特別職報酬等審議会への諮問は不要であると、当会派の意見を示してきた。しかし、市長は議会の要請を受け、丁寧な対応をいただき、5月22日に特別職報酬等審議会が開かれた。当日は、委員から「政治的な自主減額は審議

にそぐわない」「民意が働いたものを審議するのはいかがなものか」などの意見が出され、全員一致で諮問不要と結論が出された。6月定例会の総務消防委員会において、可決すべきものと決し、市長給料3割と退職金カット分は4年間で3800万円となる。今後有効的かつ効率的な財源の活用を期待し、賛成する。

第32号議案では、教育長において、市長の行財政改革に賛同いただいた。給料削減を行うことは、教育長の職務権限である教育行政に、まったくもって踏み込まない政治的中立性の担保された上だと理事者答弁から確認した。当会派には反対の理由がなく、市長の給料カットに加え、1年間で129万円の確保となり、市長が目指すまちづくりの一助となることから、賛成する。

討論
結果は
市民に説明を

新政クラブ議員団

14議案に賛成し、1議案に反対する。

第37号議案での主な補正は、市長がゼロベースでの事業見直しとして公約に掲げた、舞鶴赤れんがパーク周辺施設の整備を行う、地方創生拠点整備事業費5億1191万円である。事業再開に多くの市民が安堵しているが、3カ月間事業を止めた理由や、再開へ至った経過と結論を市長から市民に対して丁寧な説明が必要と考える。次に、中学生の医療費を1カ月200円とする子育て支援医療助成費366万円だが、この財源は従来実施していた小学生まで

1カ月200円とする医療費補助が、今年度から京都市が行う取り組みとなり、浮いた予算での実施である。今後の医療費無償化へは財源を明確にし、早急な制度設計が必要である。子育て施策で他市との競争だけでなく、国や府の制度では、支援が行き届かない真の弱者に対して、寄り添った支援を要望し、賛成する。

継続審査である市長の給料削減を行う第12号議案では、必要とした特別職報酬等審議会が開かれたが、求めに応じた真摯な対応ではなかった。遺憾であるが、議会の合議により賛成する。

教育長の給料削減を行う第32号議案では、市長の政治信条に基づく給料削減を中立、公平、公正である教育行政に押し付けることは、不当な政治的介入であり、反対する。

※ 第12号議案 … 舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について
※ 第32号議案 … 舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について

令和5年6月2日の本会議初日および7月3日の最終本会議において、提案された第48号議案を除く議案に対して討論をしました。

討論

討論
補助率の高い財源の活用を評価

会派に所属しない議員
(仲井玲子議員)

全議案に賛成する。

第37号議案は、市民との対話集会開催や新たな自治会支援など、市民の声を聞き、市政に反映されることに賛同する。保育園での使用済みおむつを保育施設内で廃棄処分する

「保育所等に係る衛生環境充実の取組」など、子育て支援施策への取り組みを評価する。補正予算の財源については、きょうと地域連携交付金、京都市結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金、防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、就学前教育・保育施設整備交

付金、保育対策総合支援事業費補助金など、補助率の高い国庫支出金や府支出金を活用。消防債も70%返還の交付税措置のある地方債などを活用しており、賛成する。

第38号議案の森林環

境税については、本市の徴収額の総額は約4千万円、国からの配分額は5千万円となる。森林経営管理推進経費などの活用に期待し、賛成する。

第12号、第32号議案に賛成

第12号議案は、市長の給料3割カットと退職金ゼロに係る4年間の総額は、約4千万円となる。1年間に1千万円と試算し、子育て支援などの施策に活用したい。市職員の給料には影響ないとの答弁があり、賛成する。

第32号議案は、教育長自ら市長の理念に同意され、舞鶴市政の舵取りへ志を一にされた」と理解し、賛成する。

討論
市民と事業者の支援を早期実施を

自民党鶴政クラブ議員団

14議案に賛成し、1議案に反対する。

第36号議案は、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯等に対して、給付金を支給するものである。また、物価高騰の影響を受けた生活者や地域経済の消費を下支えするため、まいづる小売サービスプレミアム商品券を発行する事業費

などであり、賛成する。

第37号議案は、物価や電力価格の高騰の影響を受けている公的サービス提供事業者や高圧電力契約事業者、私立学校等の負担軽減を図るものである。また、園児の使用済みおむつを施設内で廃棄処

討論
市民ニーズに応える着実な支援と充実を

公明党議員団

14議案に賛成し、1議案に反対する。

第36号議案では、コロナ禍の影響で物価高騰は深刻であり、低所得者世帯に3万円の早期の支給を求める。また、まいづる小売サービスプレミアム商品券1500セットの販売方法を工夫し、飲食店への支援も期待することから、賛成する。

第37号議案では、新婚世帯支援や新生児聴覚検査、医療助成費など、子育て世帯の支援に期待する。また、市長と市民との対話集会では、幅広い年代の方との交流を深め、市民のニーズに応える対話の機会を増やすことが重要と考え、賛成する。

第12号議案では、特別職の給料等の減額について継続審査としていたが、審議会では「諮問は不要」との見解であった。現在の市長の給料は、審議会が職責と労務に応じて答申している給料であり、それに応じることが大変重要と考える。市長の職責は、与えられた給料以上の成果の達成に邁進するのが本来である。市長個人による多額の減額の影響が周囲に及ばないように、具体的な対策を求める。市長個人の意思である給料カットが、市民に受け止められていることから、賛成する。

教育長給料減額に反対

第32号議案は、教育長の給料も特別報酬等審議会で決定され、教育長の任命権を持つ市長が、給料の減額を本人に求めることは、強制になり得ることから不適切と判断し、反対する。

※ 第36号議案 … 令和5年度 舞鶴市一般会計補正予算(第2号)
※ 第38号議案 … 舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について

※ 第37号議案 … 令和5年度 舞鶴市一般会計補正予算(第3号)

令和5年6月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で同意・可決した人事議案

- 農業委員会委員の任命について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

【議決結果】可…可決、修…修正可決、否…否決、同…同意、不同…不同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	高橋秀策	仲井玲子	議決をした日									
鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	無党派										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7月3日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	7月3日							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	7月3日							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	7月3日						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	7月3日							
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7月3日						

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期満了に伴い、令和5年7月3日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 池田三郎氏 | 今田壽孝氏 | 岩崎俊彰氏 | 岡本厚美氏 | 尾上亮介氏 |
| 嵯峨根秀樹氏 | 坂本武氏 | 櫻井成親氏 | 佐藤正之氏 | 霜尾共造氏 |
| 谷口一郎氏 | 辻とよ子氏 | 内藤義高氏 | 二谷敏子氏 | 林浩二氏 |
| 日置義久氏 | 藤村順一氏 | 前田隆文氏 | 森川勝文氏 | |

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、令和5年7月3日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

池田雄治氏

議案の採決結果

(令和5年6月定例会) 会期:6月2日~7月3日

全会一致で可決した予算議案

- 令和5年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)

全会一致で可決したその他の議案

- 工事請負契約の変更について(清掃事務所整備工事)
- あらたに生じた土地の確認について(和田地区)
- 字の区域の変更について(和田地区)
- 市道路線の変更について
- 工事請負契約について(倉梯小学校教室棟長寿命化改修工事)



賛否が分かれた議案

議案名	議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	上野修身	尾関善之
								鶴政	鶴政
市長提案	舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について	25	24	23	1	0	可	○	○
市長提案	舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について	25	24	7	17	0	否	×	×
市長提案	令和5年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)	25	24	21	3	0	可	○	○
市長提案	舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について	25	24	21	3	0	可	○	○
市長提案	基本構想の変更及び基本構想を実現するための実行計画の策定について ※修正案	25	24	16	8	0	修可	○	○
市長提案	副市長の選任について	25	24	8	16	0	不同	×	×

【会派】 鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団

表彰

全国市議会議長会第99回定期総会におきまして、舞鶴市議会から3人の議員が表彰されました。

○ 全国市議会議長会議員在職20年以上特別表彰(平成14年12月5日から20年以上在職)

伊田悦子議員 尾関善之議員 小杉悦子議員

令和4年度 議長交際費の支出内容は舞鶴市議会ホームページに掲載しております。



令和4年度 政務活動費の支出内容は舞鶴市議会ホームページに掲載しております。



わがまちトーク

あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和5年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

令和5年6月15日、16日、20日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	廣瀬 昇	1 舞鶴市の地域医療の在り方について
2	一問一答	松田 弘幸	1 まなびあむ駐車場事故について
3	一問一答	山本治兵衛	1 食品の衛生管理について 2 報酬等審議会の答申について 3 第7次舞鶴市総合計画について
4	一問一答	上野 修身	1 舞鶴市における森林整備について 2 災害に強い消防体制づくりについて
5	一問一答	伊田 悦子	1 子育て支援医療費助成の拡充について 2 多様性を認め合い、自分らしく暮らせる取組について 3 市民合意で「市民がつくる中央図書館整備」について 4 「平和あっての地方自治」その取組について
6	一問一答	仲井 玲子	1 身を切る改革の今後の展望について 2 西舞鶴道路・府道小倉西舞鶴線工事の進捗状況について 3 舞鶴市の空き家対策とその取組について 4 東駅ガイドセンターについて
7	一括	西村 正之	1 防衛補助の実績について 2 生活保護の動向について 3 債権管理について
8	一括	杉島 久敏	1 自転車利用者におけるヘルメット着用努力義務について 2 熱中症対策の推進について
9	一問一答	田畑 篤子	1 舞鶴の医療体制について 2 舞鶴市内の看護師課題について 3 舞鶴市内の「花とみどりのまちづくり」について
10	一括	水嶋 一明	1 市道宮下谷口線及び上良大將軍線に係る道路整備事業について 2 大手ポンプ場の供用開始時期とその効果等について
11	一問一答	小西 洋一	1 安全・安心な水道事業について 2 子ども先生も「生き生き通う学校教育」について 3 「次世代への徹底投資」について 4 本市行政の基本姿勢について 5 「GX(グリーン・トランスフォーメーション)脱炭素電源法」の成立について
12	一括	高橋 秀策	1 働く人材の確保について 2 建設業について 3 本市にゆかりのある方による地域の魅力発信について 4 教育問題について 5 新幹線誘致について
13	一問一答	福本明日香	1 障害福祉について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 地域部活について
14	一問一答	小谷 繁雄	1 地球温暖化対策実行計画について 2 発達性読み書き障害(ディスレクシア)について
15	一問一答	今西 克己	1 代表質問における再任用・任期付採用に関する市長答弁について
16	一問一答	肝付 隆治	1 今後のまちづくりについて 2 市民との協働によるまちづくりについて
17	一問一答	小杉 悦子	1 マイナ保険証について 2 農業の振興について 3 地域医療の確保について 4 高齢者が地域で生き生きと暮らせる社会の構築について
18	一括	眞下 弘明	1 地域コミュニティの活性化について
19	一括	谷川 眞司	1 図書館再編の進め方について 2 新たな自治会支援の取組について 3 都市公園・駅周辺の整備とイルミネーションについて
20	一問一答	眞下 隆史	1 中山間農地の現状課題と、将来の農地課題に対する展望について 2 舞鶴自然文化園の維持について 3 市長公約「給与30%カット、退職金0」について
21	一問一答	尾関 善之	1 西市街地浸水対策について 2 行財政改革について
22	一問一答	野瀬 貴則	1 テレビ難視聴地域での共聴アンテナについて 2 新たな自治会支援の取組について 3 広報まいづるについて

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
 ※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



問う。確保対策について
 域医療を担う人材
 確保持可能な地
 全・安心なまちづ
 くりの環境でもあ
 る。持続可能な地
 域医療を担う人材
 確保対策について
 問う。

質問 舞鶴市の地域医療の在り方について
 は、多くの市民の皆さ
 まから関心を持って
 るとの声を聞いてい
 る。本市では「持続可
 能な地域医療を考える
 会」が発足し、各公的
 病院の課題抽出をする
 こととなった。喫緊の
 課題は救急対応であ
 り、市民の皆さまの命
 を守る体制づくりも含
 めてより良い地域医療
 を残せるようにすべ
 きと考えるが、現状の取
 り組みはどうなってい
 るのか。また、地
 域の医療に関わる
 人材確保は、安
 全・安心なまちづ
 くりの環境でもあ
 る。持続可能な地
 域医療を担う人材
 確保対策について
 問う。

一般質問

Q 舞鶴市の地域医療の確保対策は

A 持続可能な地域医療を考える会で協議

答弁 2月に鴨田市長就任以来、市内公的病院や府立医大への訪問を重ね、地域医療に関する現状について意見交換を行ってきた。現場等での課題の把握について「持続可能な地域医療を考える会」を設置し今後議論していく。救急医療体制の現状と課題についても協議する。本市の地域医療を担う看護師・助産師等の育成・確保に資する施策を検討する。



市民クラブ舞鶴議員団
廣瀬 昇



皆で考える地域医療

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

わがまちトピック

あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR



安全対策が望まれる
まなびあむ駐車場ゲート

質問 彩葉館で買い物をする際は、まなびあむ駐車場から車道を横断し、北側駐車場ゲート付近を通るしかない。しかし、ゲートバー付近には、歩行者への安全対策ガードや注意喚起等の表示がないため、下降してきたゲートバーと歩行者の接触事故が発生した。安全対策が不十分である。怪我をされた被害者への補償を問う。

答弁 まなびあむ敷地内で発生した事故であることから、駐車場

Q まなびあむでのゲート接触事故の補償はできる限り寄り添った対応をする

A



公明党議員団
松田 弘 幸

質問 今回の件を受け今後、同様の事故が発生しないようさらなる安全対策・改修が必要であると思われるが、どう考えているのか。

答弁 来館者のスムーズな動線確保、安全確保を図るため、横断歩道の設置、駐車場ゲートへの侵入防止柵の設置などを施工する。

Q 安全対策・改修が必要では

A 侵入防止柵の設置を施工

管理事業者に状況を伝え、怪我をされた方との相談に応じるよう指示し、相談に応じるところである。市としては、被害者にできる限り寄り添った対応をしてきたところである。

質問 6月2日に第7次総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会が開催された。委員会で各議員の意見を集約し、議会として意見を取りまとめられ、市長へ提出された。舞鶴の再生については、多くの議員から削除すべしと異議が述べられた。身を切る改革については、後期実行計画の見直し案のどの項目にも記述がなく、多くの議員から指摘があった。この状況を市としてどのように理解をしているのか。また、どのように対応するのか。

答弁 第7次総合計画・後期実行計画（案）における

Q 後期実行計画に身を切る改革は必要か

A 慎重に対応を検討したい



新政クラブ議員団
山本治兵衛



総合計画は議会の意見も取り入れて作成

「舞鶴の再生」の記述については、上羽議長から鴨田市長に対して、全議員合意のもと「舞鶴市議会としての意見」をいただいた。特に、「身を切る」という内容については、後期実行計画（案）の中に明確な記述がなく、適切ではないとの意見をいただいたことから、「舞鶴の再生」の意見と併せて、その対応について慎重に検討を進めているところである。

質問 森林の有する公益的機能は、地球の温暖化防止・国土保全・水源の涵養など、国民に広く恩恵をもたらすものであり、適切な森林整備を進めることは大変重要である。政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラルを目指す」と宣言した。達成には、排出量の削減はもとより、吸収作用である森林の保全、強化が求められている。本市の森林の現状と課題について、市の見解を問う。

答弁 木材需要や価格の不安定化による森林経営に対する意欲低下や、森林所有者の高齢

Q 本市の森林の現状と課題は

A 適正管理が益々困難な状況にある



自民党鶴政クラブ議員団
上野 修身



望まれる森林整備

化、担い手不足などに加え、急峻な地形や小規模な経営森林が多く、適正な管理ができていない森林は年々増加している。所有者が不在・不明であったり、森林の境界や場所が分からない所有者の増加等に伴い、適正な森林管理を行うことは益々困難な状況にある。森林の適正な整備は重要であり、持続可能となるよう取り組んでいく。

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



わがまちトーク

あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR



早期の拡充が望まれる
子どもの医療費助成

Q 子どもの医療費助成
早期の拡充は
関係機関との調整に
時間を要する

A 京都府が9月
診療分から子育て支援
医療費助成を拡充。そ
れに伴い、府内自治体
それぞれに拡充する。
福知山市は9月診療分
から拡充する。しかし、
本市は来年1月からで
ある。子育て世帯の願
いに応え、早急な拡充
はできないのか。



日本共産党議員団
伊田悦子

答弁 制度の拡充は、
基幹業務支援システム
と国保連合会システム
の改修に、約5カ月間
を要することから、最
速で制度開始は令和6
年1月からとなる。

Q 図書館再編の
市民合意は

A 市民ニーズの
把握に努める

質問 図書館基本計
画では「住民参加型の
市政の観点に沿ったプ
ロセスが重要。市民に
しっかりと支えてもらえ
るような図書館にした
い」との記載があるよ
うに、市民合意で進め
ることが重要と考えるが、
いかがか。

答弁 今後、出前講
座や、現在の図書館利
用者、利用されてない
方、高校生など、さま
ざまな立場や幅広い世
代を対象にアンケート
やヒアリングを実施す
るなど、ニーズの把握
に努める。市民ともに
図書館の再編を進め
ていく。

Q 国道27号西舞鶴
道路等の進捗状況は

A 早期完成・早期供用に向け
工事進捗中



会派に所属しない議員
仲井玲子

質問 国道27号西舞
鶴道路・府道小倉西舞
鶴線工事について、市
民から今年度予算の削
減や工期延長を心配す
る声を多くいただく。
供用開始の予定時期を
含めた事業全体への影
響の有無を問う。

答弁 西舞鶴道路の
当初予算は、年度ごと
の増減はあるが、計画
的に進捗している。府
道小倉西舞鶴線は、今
年度の工事進捗に必要
な事業経費を確保され、
早期完成・早期供用に
向け、国や府と連携し、
事業の推進に努める。

Q 観光ガイド
センター継続は

A 取り組みを尊重し
支援する

質問 令和4年より
東舞鶴駅の観光案内所



西舞鶴道路・臨港道路
上安久線の完成模型

を閉鎖する市の決定を
受け、舞鶴観光のホス
ピタリティ低下を懸念
した市民ボランティア
ガイドの会で自主的に
運営している。公共交
通利用の観光客へのき
め細やかな案内所とし
て継続する意義は大き
いが、市民の見解を問う。

答弁 市民の自主的
なおもてなし活動の取
り組みを十分尊重した
上で、まいづる観光ガ
イドセンターの運営や
観光ガイド等の人材育
成を支援し、観光まち
づくりの推進に努める。

Q 基地関係補助金と
交付金の活用状況は

A 貴重な財源として
活用



市民クラブ舞鶴議員団
西村正之

質問 毎年、防衛省
からの交付金等は、本
市と自衛隊舞鶴基地と
の共存共栄を図る上で
重要なものであり、民
生安定施設の整備事業
に対する補助金および
特定施設周辺整備調整
交付金の交付を受けて
いる。総務省からは、
飛行場、弾薬庫等の防
衛施設の固定資産税の
代替的性格を有する国
有提供施設等所在市町
村助成交付金、いわゆ
る基地交付金の交付
を受けている。そこ
で、過去5年間のこ
れら基地関係補助金
および交付金の活用
状況を問う。

答弁 過去5年間
の活用状況について、
平成30年度から令和
4年度までの5年間
の交付金総額は約41



北吸岸壁に係留する護衛艦

億8千万円と見込んで
いる。その内訳は、民
生安定施設の整備事業
に対する補助金の総事
業費約46億2千万円に
対し、約27億1千万円
の補助で、赤れんが周
辺等まちづくり事業や
清掃事務所の大規模改
修に取り組んでいる。
いずれの補助金および
交付金も、市民福祉の
向上に大きく寄与する
貴重な財源とし活用し
ている。

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

Q 一般質問
自転車ヘルメット
着用の推進は
自主的な着用になる
よう研究を進める



公明党議員団
杉島 久敏



ヘルメット着用義務化を
呼び掛ける政府広報

質問 改正道路交通法の施行により、本年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が年齢にかかわらず努力義務化となった。学校教育現場として本市教育委員会においては、ヘルメット着用の努力義務をどのように捉え、どのように考え、子どもたちの安全確保を進めておられるのか。また、自転車ヘルメット購入に関する物価高騰による家計への影響などから、負担を強い

答弁 舞鶴警察署を始め、交通安全関連団体等と連携し、舞鶴市交通安全対策協議会において、交通事故のない社会を目指し、年4回の交通安全運動期間のほか、毎月数回にわたり各種交通安全に係る啓発を実施している。ヘルメットの自主的な着用につながるよう関係機関と連携し、啓発に努めるとともに、補助事業制度も含め、市民の安全確保のため研究を進めてまいりたい。

ヘルメット着用義務化を呼び掛ける政府広報

Q 一般質問
看護師育成への
本市の支援は
奨学金・就学金の
施策も有効と考える



新政クラブ議員団
田畑 篤子

質問 本市の医療課題は、主に医師不足や救急体制等と言われるが、実は看護師不足も深刻な状況にある。市内各病院は、新年度の採用でも不足がある。加えて、令和9年3月での舞鶴医療センター附属看護学校閉校が発表され、看護師不足の危機が予測される。そこで、市内唯一の看護師育成学校となる日星高等学校看護科を地域全体で支援することが、京都府北部地域の医療体制を守ることもできる。本市ができる支援として市の考えを問う。

答弁 医療は、医師だけでなく看護師など医療従事者等に支えられている。市内の看護師を養成する学校は、日星高等学校看護科に限られる。地域医療を支えていただく看護師確保は、重要な取り組みである。看護師の育成・確保に向け、日星高等学校とも連携を密にししながら今後の取り組みを検討していく。市ができることは、例えば、入学者数の増加につながる支援策の検討や、奨学金・就学金制度の施策も有効と考える。



看護学校の戴帽式

Q 一般質問
道路整備での
通学路の安全確保は
学校と調整し安全な
通学路確保に努める



自民党舞鶴政クラブ議員団
水嶋 一明

質問 市道宮下谷口線、市道上良大將軍線の道路整備事業地域には、保育園や中筋小学校、城南中学校がある。児童・生徒の安全・安心な通学路の確保と、地域住民の方が散歩や買い物等に掛けるとも安全に利用できる歩道の整備が必要である。市道宮下谷口線2車線化の事業区域には、白線が引かれた通学路が含まれるが、京田川の改修も含め、工事期間中に安全・安心な通学路の確保にどのように取り組まれるのか、市の見解を問う。

答弁 通学児童、生徒、地域住民の方が安全・安心に利用できる歩道の整備と、道路拡幅

による渋滞緩和を目的に事業を進めている。用地測量や補償調査を令和5年度に実施し、用地取得に努め工事を進めていく。工事期間中の代替通学路は、小中学校等と調整し、確保に向け進める。京田川の改修を含めた通学路の整備は、通水断面が不足している区間の改修と併せた歩道の整備に向け、現地調査や工法の検討をしていく。



代替通学路の確保は

一般質問

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。



全国で進む「学校給食の無償化」

質問 近隣市町との連携による水道事業は必要と考えるが、国や府が急速に進める広域化や施設統合は問題である。将来の「民営化」への「地ならし」の危険があり、すでに各地で水メジャーへの委託が進んでいる。「自己水の確保」が必要では。

一般質問
Q 舞鶴のおいしい水「自己水」の確保は安定した水道サービスを提供していく



日本共産党議員団 小西洋一

答弁 水道事業の経営環境は、多くの課題を抱え厳しさを増している。このため、国や府の財政支援や広域連携、官民連携を活用し、「管理運営」は市が行い、安定した水道サービスを提供していく。

Q スピード感持って無償化を
A 着実に取り組みを推進する

質問 市長が公約した「全小中学校の学校給食の無償化」には、若い保護者から大きな期待が寄せられている。スピード感を持って取り組みべきと考えるが、実施に当たってはどのような課題があると考えているのか。

答弁 安心の子育て環境実現のための重要な施策であり着実に進めたい。制度設計に当たり、安定的・持続的な財源確保、事務処理の変更等の課題を洗い出し、整理していくことが必要と考える。

一般質問
Q 建設業へ週休2日制導入の取り組みは働き方改革の推進に努める



会派に所属しない議員 高橋 秀 策

質問 冬の寒い朝から、道路除雪や災害が発生したら迅速に災害復旧を行っていただく建設業はなくてはならない存在であるが、若年層が敬遠する傾向にある。その要因の一つに、週休2日制導入率が影響している。週休2日制導入に向けた具体的な内容を問う。

Q 早急に新幹線誘致を
A 誘致実現を目指し取り組み

答弁 今年度は、本格実施に向けた検証等を行う。国・府の実施要領に倣い、契約時、受注者に週休2日制実施の意向を確認し、実施の意向を確認し、実

質問 来年には、北陸新幹線が敦賀までつながり開業される。これを好機と捉え、新幹線誘致をさらに進めるべきである。新市長のもと、どのような取り組みを展開されるのか。

答弁 市長が出席した山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議で決議が採択され、国等に要望し、新幹線の重要性を再認識したところである。今後、京都府北部ルート誘致の実現を目指し取り組む。

一般質問
Q 発達相談支援員の現状と人手不足対策は課題を把握しながら有効な対策を講じる



市民クラブ舞鶴議員団 福本明日香

質問 障害児発達相談支援専門員の配置は、放課後等デイサービス事業所の施設側負担が大きい。本市においても、配置をなくさざるを得なかった事例もあると聞いているが、現状と人手不足の解消に向けた具体的な対策を問う。

Q ひまわり支援マーク導入は
A ヘルプマーク普及に努める

答弁 現在4カ所の相談事業所に対応しているが新規対象者の受け入れが困難と聞いている。一部対応ができていないため保護者自身が計画を立てる「セ

質問 イギリスや世界の空港で広がる「ひまわり支援マーク」は、日本のヘルプマークに類似し「外見からは見えにくい障害」を知らせる。ポーツマス市と姉妹都市である本市も、取り組みべきと考えるが、市の見解を問う。

答弁 本市では、同様の観点で平成28年度から京都府と「ヘルプマーク」の普及に取り組みしており、引き続き、「ヘルプマーク」の普及・啓発に努めていく。



望まれる新幹線誘致



実際のひまわり支援マーク

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

わがまちトーク
あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR

質問 再生エネルギー設備の導入について、新設施設におけるZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)の推進は、自然エネルギーの利用や省エネ技術の組み合わせで極力エネルギーを使わない建築物として注目されている。新築予定の西消防署や建設計画中の新中央図書館のZEB化について問う。また、本市が保有している2台の電気自動車では、災害時において十分ではない。地球温暖化対策と緊急時にも役立つ、電気自動車や充電スタンドの整備の積極的な推進について問う。



再エネ利用の東体育館で充電中の電気自動車

第32号議案
舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について
舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例を次のように制定するものとする。
令和5年3月29日提出
舞鶴市長 鶴田 秋津
舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例
(趣旨)
第1条 この条例は、教育長の給料の特例について定めるものとする。
(給料の特例)
第2条 この条例の施行の日(令和5年3月31日)に在職する教育長の同日から令和6年3月31日までの間における給料月額(舞鶴市教育長の給与等に関する条例(平成27年条例第2号)第3条の規定にかかわらず、同条に定める給料月額からその額の100分の10を乗じて得た額を減じた額とする。)

舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定案の一部抜粋

答弁 本市の教育行政の課題に対して、市民ニーズに対応した施策の展開を図っていくために、共に行財政改革を主導していく同志として、共に身を切る改革を推進する」と述べている。この同志発言には極めて強い違和感がある。この発言の意図するところは政治信条そのものであり、特定の党派の影響力からの政治的中立性の確保に照らして、適切か教育委員会の見解を問う。



みんなで考える市民憲章

質問 市長は、教育長の給料1割カットに踏み込んでいます。政治的中立性や安定性など、特定の党派の影響力からの政治的中立等に照らして問題はないか教育委員会の見解を問う。
答弁 あくまで、共に行財政改革を主導していくことで、教育委員会の職務権限の下に行う教育行政に及ぶものではないと考える。

質問 再生エネルギー設備の導入について、新設施設におけるZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)の推進は、自然エネルギーの利用や省エネ技術の組み合わせで極力エネルギーを使わない建築物として注目されている。新築予定の西消防署や建設計画中の新中央図書館のZEB化について問う。また、本市が保有している2台の電気自動車では、災害時において十分ではない。地球温暖化対策と緊急時にも役立つ、電気自動車や充電スタンドの整備の積極的な推進について問う。

質問 市長は「副市長、教育長は行財政改革を主導していく同志として、共に身を切る改革を推進する」と述べている。この同志発言には極めて強い違和感がある。この発言の意図するところは政治信条そのものであり、特定の党派の影響力からの政治的中立性の確保に照らして、適切か教育委員会の見解を問う。

質問 市長は、教育長の給料1割カットに踏み込んでいます。政治的中立性や安定性など、特定の党派の影響力からの政治的中立等に照らして問題はないか教育委員会の見解を問う。
答弁 あくまで、共に行財政改革を主導していくことで、教育委員会の職務権限の下に行う教育行政に及ぶものではないと考える。

質問 市長と市民との対話集会を行うとともに、出た意見を参考にしながら、新たな市民ニーズへの対応や既存事業の再点検を行い、デジタル化の推進や民間活用などのさまざまな

質問 市長と市民との対話集会をはじめ、今後、さまざまな機会を捉えて、市民と目指すまちの将来像やまちづくりの方向性を共有し、市民憲章の制定についても検討していく。

Q 省エネ・再エネを活用した事業の推進は積極的に地球温暖化対策事業を導入する
A 成28年度を基準に50%以上の省エネ設計とする。新築する公共施設においても、ZEB化を推進する。本市保有の電気自動車リーフは、災害時にも活用でき、停電時の避難所などでの利用も想定している。今後は、「第7次舞鶴市総合計画後期実行計画」に基づき、有利的に電気自動車の導入や充電スタンドの整備を進める。

公明党議員団
小谷 繁 雄

Q 行財政改革を主導する同志発言を問う
A 自主的に取り組むので問題ないと考える

新政クラブ議員団
今西 克己

Q 身を切る改革と持続可能なまちづくりは
A さまざまな手法を用いて改革を進める

自民党鶴政クラブ議員団
肝付 隆 治

※ ZEB … Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。
快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

一般質問

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。



わがまちトーク

あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR

Q マイナンバーカード
誤登録の状況は
誤登録の疑いが1件で
不安解消に努める

A 健康保険と一
体化させたマイナン
バーカードに、別人の
情報が登録されていた
誤りは、医療事故を起
こしかねない危険なト
ラブルである。マイナ
保険証や資格確認書は
本人の申請が必要で、
国民皆保険制度の崩壊
につながるものだ。①
マイナンバーカードの
誤登録の状況はどうか。
②保険証廃止となれば
事実上強要されること
になる。混乱必至の来
年秋の保険証の廃止は
やめるべきだ。市とし
ての受け止めはどうか。



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 健康保険と一
体化させたマイナン
バーカードに、別人の
情報が登録されていた
誤りは、医療事故を起
こしかねない危険なト
ラブルである。マイナ
保険証や資格確認書は
本人の申請が必要で、
国民皆保険制度の崩壊
につながるものだ。①
マイナンバーカードの
誤登録の状況はどうか。
②保険証廃止となれば
事実上強要されること
になる。混乱必至の来
年秋の保険証の廃止は
やめるべきだ。市とし
ての受け止めはどうか。

Q 国保のマイナ保険
状況は

A 約55%の方が
登録を完了

質問 国民健康保険
加入者のマイナ保険証
への登録状況はどうか。

答弁 加入者の約55
%が健康保険証利用登
録を完了されている。



健康保険証の廃止・中止を

Q 町内会未加入ごみ収集
トラブル解消法は
適正な分別と排出の
ルールを周知した

A 町内会によっ
ては、字費や運営方法
が異なることもある。
一定のルールづくりは
難しいが、町内会未加
入世帯のごみ収集トラ
ブルの解消法について
市の見解を問う。



新政クラブ議員団
眞下 弘明

質問 町内会によっ
ては、字費や運営方法
が異なることもある。
一定のルールづくりは
難しいが、町内会未加
入世帯のごみ収集トラ
ブルの解消法について
市の見解を問う。

答弁 ごみ集積所へ
の排出は、市が自治会
加入を条件とすること
は難しい。ごみ分別
ルールブックは、3月
に全戸配布を行い、ご
みの適正な分別と排出
のルールを周知した。

Q 緊急事態時の
情報伝達は

A さまざまな手段を
駆使する

質問 町内会未加入
の世帯では、突然の事
故や地震、線状降水帯
による河川の氾濫、ミ
サイル発射でJアラール



課題がある町内会のごみ捨て

トがなった場合などの
緊急事態時、町内の回
覧板等による情報伝達
方法もない。町内会に
属していない世帯への
情報伝達方法について、
市の見解を問う。

答弁 緊急事態時情
報伝達は、防災行政無
線、市メール配信、市
公式LINE、市ホー
ムページ、広報車、F
Mまいづる、テレビ
データ放送、市総合モ
ニタリング情報配信シ
ステム等で、命に関わ
る大切な情報を市民に
伝達するよう努めてい
る。

Q 図書館再編の進め方は
意見交換を行う中で
再編を進める

A 5月に開催さ
れた図書館基本計画の
説明会のようなやり方
では、市民の意見が本
館や分館には反映され
ないのではないか。市
民主体の「ワークショップ」や市長が飛び込
みで会議に参加する
「飛び込み市民会議」
のような市民参加の説
明会の開催を提案する。
市の見解を問う。



自民党鶴岡クラブ議員団
谷川 眞司

質問 5月に開催さ
れた図書館基本計画の
説明会のようなやり方
では、市民の意見が本
館や分館には反映され
ないのではないか。市
民主体の「ワークショップ」や市長が飛び込
みで会議に参加する
「飛び込み市民会議」
のような市民参加の説
明会の開催を提案する。
市の見解を問う。

Q 東分館の
在り方を問う

A 幅広く意見を聞く

質問 本市の次世代
を担う若者達の育成、
学ぶ場所や居場所づく
りなどに投資すること
は、本市の発展につな
がるものと思う。東分
館の在り方を問う。

答弁 東地区の分館
に求められているサー
ビスや市民の皆さんが
分館でどのように過ご
したいのか、魅力的な
分館にするにはどうし
たらよいか、幅広く
ご意見をお伺いする必
要があると考えます。



議論が進む東図書館

令和5年6月15日、16日、20日に本会議を開き、22人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

わがまちトピック

あらまし

委員会審査

第7次総合計画

討論

採決結果

一般質問

定例会の予定

議会PR



今後も公園機能を維持する舞鶴自然文化園

質問 舞鶴自然文化園は現在、市直営に変更しさらなる効率的な運営を目指されている。市民からは、今後も魅力ある公園機能として期待されているが、新市長が掲げる公共施設の在り方を検討される中で、公園機能をなくした条件なしの売却は考えられるのか。

答弁 市直営管理とすることで、管理体制の見直し・必要最小限の経費による運営を行っている。現在のところ、そのような売却

質問 市長公約の「市長の給料減額・退職金ゼロ」について、今後、市長に立候補される方にとって、この条例を認めると比較対象に必ずなり、争点が低レベルになる。フォーローする考えは。

答弁 鴨田市長の政治信条に基づき、かつ、鴨田市長のみ適用されるものであり、その時々候補者の、政治信条に基づいて判断されるものと考ええる。

Q 舞鶴自然文化園を公園機能なしで売却は

A そのような売却の予定はない



Q 次期市長選挙が低レベルに

A 政治信条に基づいて判断

の予定はない。自然豊かな舞鶴自然文化園のポテンシャルを生かし、魅力ある公園として再生を目指していく。

Q 静溪ポンプ場や伊佐津川の整備状況は

A 府や地元と連携し、治水対策を推進する



質問 西市街地の浸水対策として念願であった大手ポンプ場が完成に向け、最終段階に入っている。関係者の皆さま方のご尽力に対して心より感謝を申し上げます。大手ポンプ場について①進捗状況、②ポンプ場の機能、③ゲートポンプの設置状況、④ごみの除却能力、⑤排水能力、⑥運転方法など、現在の状況を問う。また、⑦静溪ポンプ場をはじめ4力所のポンプ場、さらに、高野川の拡幅工事、大橋および伊佐津川の整備状況について問う。

答弁 大手ポンプ場は①6月下旬に試運転、7月下旬ごろに供用開始予定。②大雨等で

高野川の水位上昇による大手川への逆流を防止。③ゲートとポンプが一体のゲートポンプ設置。④50以上の異物除去が可能。⑤ポンプ3台で最大1秒間6・5トンの排水能力を有し、大手川流域の床上浸水はほぼ解消する。⑥維持管理は専門業者へ委託。⑦静溪ポンプ場や伊佐津川整備等は、府や地元関係者と連携し、治水対策を推進していく。



7月供用開始の大手ポンプ場

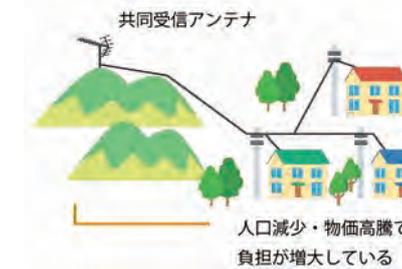
質問 市内のテレビ放送の受信が困難な難視聴地域では、共同でテレビ組合を結成し、共聴アンテナを設置する地域が41カ所ある。人口減少や物価高騰により収支が悪化しており、設備の維持修繕には組合費の大幅値上げが必要になる。住民の自助努力だけでは解決が困難であり、テレビ放送は日々の情報だけでなく、災害時の避難情報を得るためにかかせない社会インフラの一部と考えることから、行政として支援や協力ができないか問う。

答弁 共聴組合は、地域が任意で設置する団体のため、市では詳細を把握していない。共聴施設につ

いては、設置者において適切に維持管理されるのが原則であると考ええる。テレビは、災害情報や最新のニュース等生活に必要な情報の収集に有効であるが、近年は、インターネットが広く普及し、スマートフォンなどで自分に適した情報を入手できる時代になっている。今後については、組合員同士で協議をいただきたい。

Q 社会インフラとして共聴施設への支援は

A 地域での維持管理が原則



今後、検討が必要な共聴組合

F Mまいづるに出演紹介
舞鶴市議会の情報発信～ YouTube & Facebook ～
議会傍聴・9月定例会の予定

FMまいづるに
出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししています。



過去の放送内容も
お聴きいただけます。



今後の放送予定

8月25日(金)

放送
テーマ

「日星高等学校看護科の議会学習会について」
「舞鶴市議会議員研修会について」
「9月定例会日程案内」

これまでの
主な放送テーマ

「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
「常任委員会視察報告」「本会議や委員会の傍聴について」
「FMまいづるとの意見交換会の報告」
「審議の見える化を図る取り組み」
「市民と議会のわがまちトーク」
「防災訓練」「第20期の総括」
「議長就任挨拶」「議会改革の取り組み」 など

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



舞鶴市議会の情報発信 ～ YouTube と Facebook ～

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。



チャンネル登録をよろしく
お願いします。

舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



9月定例会予定

9月

※予定は変更することがあります。

- 4日(月) 本会議(開会・提案説明)
- 11日(月) 請願受理締切
- 14日(木) 本会議(代表質問)
- 15日(金) 本会議(一般質問)
- 19日(火) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 21日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 22日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 25日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 26日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 29日(金) 予算決算委員会

10月

- 5日(月) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

本会議や委員会等はどこでも
傍聴することができます。

議会を傍聴
してみませんか

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索

